



バトルに出場する
青山佑太さん(左)と北本さん(右)



ストリートダンスを 若い世代へ広めたい

北本 峻一 さん

ストリートダンスイベント「Heritage.vol 2」を、平成 30 年 11 月 25 日にふれあい倉庫で開催した北本峻一さん（25 歳・六軒町在住）に、ダンスにかける思いを聞きました。

きっかけは出し物

中学 2 年の時に当別中で宿泊学習がありました。その時に友人と行った出し物が「ブレイクダンス」でした。友人も私もダンス経験はまったくなく、ビデオやインターネットの動画を参考に、見よう見まねで練習しました。遊び感覚で、楽しかったのが始まりです。高校へ進学後はダンスに打ち込むために部活へは入らず、帰宅後に仲間とダンスを練習しました。その頃、ダンスチーム「FASTFURIOUS (ファストフューリアス)」を結成し、今年で 10 年目になります。仕事後の限られた時間でダンスを練習しているからこそ、学生時代よりも充実した時間を過ごしています。



チームのロゴも作りました！

ダンスバトルを当別町で

ストリートダンスの主要ジャンル「ブレイクダンス」はダイナミックなダンスが特徴的ですが、道内各地でダンスイベントが開催さ

れ、私も毎年出場しています。出場するうちに「当別町でも開催して、当別町の若い世代へストリートダンスを広めたい」と思い、平成 29 年 3 月に初めて開催しました。第 2 回開催の「Heritage.vol 2」は、チームバトルで「ブレイクダンス」と「フリースタイル」の 2 種目に、総勢 64 人がエントリーしました。ダンスバトルは、DJ がランダムに選ぶ曲に合わせてダンサーが交互にダンスの技を即興で踊り合い、審査員の票を獲得した方が、トーナメント方式で勝ち進みます。技が決まると観客から声援が沸き上がったり、観客も曲に合わせて身体を動かしながら楽しむ方もいるなど大盛り上がりでした。町外のダンス仲間からも「良かった」と言ってもらい、やった甲斐がありました。

ダンスの魅力

身体ひとつあれば、自分を表現できることが、一番のダンスの魅力だと思います。年齢や性別に関係なくダンスで交流も広がります。ストリートダンスは文化的なもので、後世につなげたいという思いもあり、イベント名を「Heritage」とし、受け継がれる文化的な遺産・伝統としました。今後は観客も増やしていきたいです。

北本さんのダンスチームは、火曜か木曜の夜（不定期）に総合体育館で練習しています。ストリートダンスに興味がある方は、一度見学してみてもいいかもしれません。練習のコツなど教えてくれるそうです。（12 月 10 日取材）



平成 30 年 11 月開催の「Heritage.vol2」